

# 『模倣犯』①～⑤

(新潮文庫) 著者: 宮部みゆき

02年版  
1位



この量、一気読み。

ゴミ箱から発見された女性の右腕は、犯人からの宣戦布告だった。比類なき知能犯に挑む現代ミステリの金字塔! 宮部みゆき人気を不動にしたまさに傑作。



『このミステリがすごい!』がすごい! (宝島社) フェア

# 『半落ち』

(講談社文庫) 著者: 横山秀夫

03年版  
1位



「妻を殺しました。」

現職警察官がアルツハイマーを患う妻を殺害し、自首してきた。自首までの空白の二日間に何かあったのか。犯人探した! カミステリーじゃない。最後の謎が解ける時、胸が震える1作。



『このミステリがすごい!』がすごい! (宝島社) フェア

# 『葉桜の季節に君を想うということ』

(文春文庫) 著者: 歌野晶午

04年版  
1位



うやあ!! やられた!!

読み終えた後  
そう叫ぶこと間違いなしの超ド級ミステリー!!!!  
読まなきゃ分からない  
衝撃の結末!



『このミステリがすごい!』がすごい! (宝島社) フェア

# 『生首に聞いてみる』

(角川文庫) 著者: 法月綸太郎

05年版  
1位



名探偵・法月綸太郎の真骨頂!

有名彫刻家が病死し、その直後、彼の娘をモデルにした石膏像の首が切り取られた。悪質ないはずらか、殺人予告か。緻密な伏線とロジックが光る本格ミステリー。



『このミステリがすごい!』がすごい! (宝島社) フェア

# 『容疑者Xの献身』

(文春文庫) 著者: 東野圭吾



## ガリレオシリーズの最高傑作。

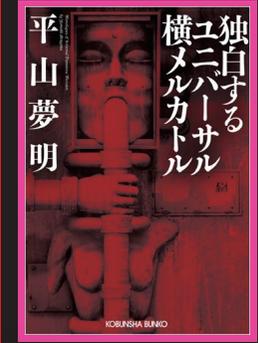
天才数学者ながらさえない高校教師に甘んじる石神は愛した女を守るため完全犯罪を目論む。

数学がカギ生かされた男の純愛ミステリ。

06年版  
1位

# 『独白するユニバーサル横メルカトル』

(光文社文庫) 著者: 平山夢明



## 覚悟して読んで下さい。グロくて、残虐で、気持ち悪い。

凝視せよ。ここにあるのは宝石だ。生理的嫌悪と、終わることのない暴力の果てにある、限りなく残酷でいて、静謐な美しさを湛える、

キセキの作品集。

07年版  
1位

『このミステリーがすごい!』がすごい! (宝島社) フェア



『このミステリーがすごい!』がすごい! (宝島社) フェア



# 『警官の血』上・下

(新潮文庫) 著者: 佐々木譲



## 壮大な警察大河小説。

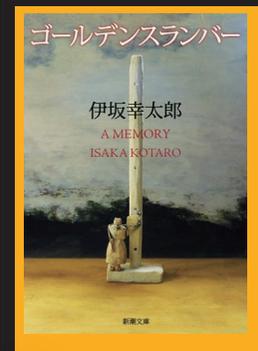
三代にわたる警官の人生を昭和に起こった2件の未解決事件と戦後の昭和から平成の時代を背景に描いた

円熟・重厚の大河小説。

08年版  
1位

# 『ゴールデンスランバー』

(新潮文庫) 著者: 伊坂幸太郎



## 最高のエンターテインメント

“俺はどうなってしまった?” 首相暗殺の濡れ衣を着せられた男は、国家的陰謀から逃げ切れるのか? 次々回収される伏線に興奮!

これぞ、ストーリーテラー・伊坂幸太郎。

09年版  
1位

『このミステリーがすごい!』がすごい! (宝島社) フェア



『このミステリーがすごい!』がすごい! (宝島社) フェア

